

大田区立図書館の指定管理者の指定について

1 指定管理者及びその期間、応募事業者数

番号	施設の名称	期間：令和2年4月1日から令和7年3月31日まで (5年間)の指定管理者名・所在地	応募 事業者 数	期間：平成27年4月1日から令和2年3月31日まで (5年間)の指定管理者名
1	大田区立大森南図書館	テルウェル東日本株式会社 渋谷区千駄ヶ谷五丁目14番9号	1	テルウェル東日本株式会社
2	大田区立大森東図書館	株式会社ヴィアックス 中野区弥生町二丁目8番15号	4	株式会社有隣堂
3	大田区立大森西図書館	株式会社ヴィアックス 中野区弥生町二丁目8番15号	3	テルウェル東日本株式会社
4	大田区立入新井図書館	株式会社ブックチェーン 大田区大森西二丁目15番21号	2	株式会社ブックチェーン
5	大田区立馬込図書館	株式会社図書館流通センター 文京区大塚三丁目1番1号	1	株式会社図書館流通センター
6	大田区立池上図書館	株式会社図書館流通センター 文京区大塚三丁目1番1号	2	共同事業者JCS/NPTグループ※
7	大田区立久が原図書館	共同事業者JCS/NPTグループ※	3	共同事業者JCS/NPTグループ※
8	大田区立洗足池図書館	株式会社図書館流通センター 文京区大塚三丁目1番1号	1	株式会社図書館流通センター
9	大田区立浜竹図書館	テルウェル東日本株式会社 渋谷区千駄ヶ谷五丁目14番9号	1	テルウェル東日本株式会社
10	大田区立羽田図書館	テルウェル東日本株式会社 渋谷区千駄ヶ谷五丁目14番9号	1	テルウェル東日本株式会社
11	大田区立六郷図書館	株式会社ヴィアックス 中野区弥生町二丁目8番15号	2	テルウェル東日本株式会社
12	大田区立下丸子図書館	株式会社ヴィアックス 中野区弥生町二丁目8番15号	3	株式会社ヴィアックス
13	大田区立多摩川図書館	株式会社図書館流通センター 文京区大塚三丁目1番1号	1	株式会社図書館流通センター
14	大田区立蒲田図書館	共同事業者JCS/NPTグループ※	3	共同事業者JCS/NPTグループ※
15	大田区立蒲田駅前図書館	株式会社図書館流通センター 文京区大塚三丁目1番1号	1	株式会社図書館流通センター
※共同事業者JCS/NPTグループ 代表法人 日本コンベンションサービス株式会社 千代田区霞が関一丁目4番2号 大同生命霞が関ビル 構成法人 野村不動産パートナーズ株式会社 新宿区西新宿一丁目26番2号				

2 選考経過

- | | |
|---------------------|--------------------|
| (1) 募集要項公表日 | 令和元年6月19日から |
| (2) 応募書類受付期間 | 令和元年7月23日から7月26日まで |
| (3) 応募団体の数 | 9団体（1団体5館まで応募可） |
| (4) 一次審査（書類審査） | 令和元年8月21日 |
| (5) 一次審査結果通知 | 令和元年8月22日 |
| (6) 二次審査(プレゼンテーション) | 令和元年9月5日・6日 |
| (7) 最終審査 | 令和元年9月24日 |
| (8) 最終審査結果通知 | 令和元年9月30日 |

3 選考基準及び第1順位者の得点

番号	審査項目	経営能力 (財務状況など)	事業計画及び 収支計画 (管理運営など)	プレゼンテーショ ン及びヒアリング	総合得点
	配点	200.0	1,400.0	400.0	2,000.0
	施設の名称 (第1順位者)				
1	大森南図書館 (テルウェル東日本株式会社)	120.0	1,099.0	280.0	1,499.0
2	大森東図書館 (株式会社ヴィアックス)	105.0	1,158.5	252.0	1,515.5
3	大森西図書館 (株式会社ヴィアックス)	105.0	1,139.2	275.0	1,519.2
4	入新井図書館 (株式会社ブックチェーン)	145.0	1,171.5	367.0	1,683.5
5	馬込図書館 (株式会社図書館流通センター)	120.0	1,137.0	328.0	1,585.0
6	池上図書館 (株式会社図書館流通センター)	105.0	1,137.0	337.0	1,579.0
7	久が原図書館 (共同事業体JCS/NPTグループ)	120.0	1,124.0	335.0	1,579.0
8	洗足池図書館 (株式会社図書館流通センター)	120.0	1,142.0	339.0	1,601.0
9	浜竹図書館 (テルウェル東日本株式会社)	120.0	1,081.0	280.0	1,481.0
10	羽田図書館 (テルウェル東日本株式会社)	120.0	1,083.0	280.0	1,483.0
11	六郷図書館 (株式会社ヴィアックス)	105.0	1,123.4	274.0	1,502.4
12	下丸子図書館 (株式会社ヴィアックス)	120.0	1,139.3	278.0	1,537.3
13	多摩川図書館 (株式会社図書館流通センター)	120.0	1,142.0	335.0	1,597.0
14	蒲田図書館 (共同事業体JCS/NPTグループ)	120.0	1,123.0	335.0	1,578.0
15	蒲田駅前図書館 (株式会社図書館流通センター)	120.0	1,141.0	327.0	1,588.0

4 選定理由（概要）

- ・基礎項目（応募資格の有無など）は、応募事業者全9団体について必須要件を満たしていた。
- ・専門調査員（公認会計士）の調査結果は、応募事業者全9団体について指定管理者として施設を安全に運営できる良好な経営状況であるとの評価であった。

番号	施設の名称	主な選定理由
1	大森南図書館 (テルウェル東 日本株式会社)	子どもと保護者が多いという地域ニーズを分析してファミリー向け事業や外国語お話し会などの事業実績が評価された。
2	大森東図書館 (株式会社ヴィ アクセス)	高齢者向けサービスや「みんなの書齋」をテーマとして利用者同士が交流を深める機会提供の提案が「大田区立図書館の今後のあり方について」を理解した内容であった。
3	大森西図書館 (株式会社ヴィ アクセス)	近隣大学病院との相互交流、商店街、商業施設への出前イベントなど地域に積極的にアウトリーチしていく提案が「大田区立図書館の今後のあり方について」を理解した内容であった。
4	入新井図書館 (株式会社ブッ クチェーン)	図書館資料についての効果的なPR手法の提案により利用者拡大につながる事が期待できる。また、特設コーナーであるビジネス支援運営の実績、読書通帳、書評案内などの利用者に向けた工夫が高く評価された。
5	馬込図書館 (株式会社図書 館流通センタ ー)	多くの指定管理実績を持つ事業者であり、運営のノウハウが豊富で研修体制も充実している。また、馬込文士村関連資料を活用した地域交流の提案や、ICTの積極的な活用の提案があり、自主事業の充実が期待できる。
6	池上図書館 (株式会社図書 館流通センタ ー)	多くの指定管理実績を持つ事業者であり、運営のノウハウが豊富で研修体制も充実している。また、移転に向けた事前準備についての提案が具体的で、実現性の高い内容であること、さらに移転後の方針についての提案も新池上図書館のコンセプトを理解した内容であった。
7	久が原図書館 (共同事業体J CS/NPTグ ループ)	図書館資料の活用と区民への提供という視点に立ち、ファミリー層の多い地域特性を踏まえ、充実した児童サービス、三枝コレクションの活用等の久が原図書館の特性に沿った実績が評価された。

8	洗足池図書館 (株式会社図書館流通センター)	多くの指定管理実績を持つ事業者であり、運営のノウハウが豊富で研修体制も充実している。また勝海舟記念館開館を踏まえ、洗足池図書館の勝海舟コーナーを整備し地域への関心を喚起している実績が評価された。
9	浜竹図書館 (テルウェル東日本株式会社)	地域資料展示や大人向けの講座、児童サービスなどの自主事業の実績が評価され、事業継続による利用者サービスの向上が期待できる。
10	羽田図書館 (テルウェル東日本株式会社)	姉妹都市セーラム市の図書館との国際交流・資料交流、羽田地域の町会や特別出張所の事業との連携した活動実績が評価された。
11	六郷図書館 (株式会社ヴィアックス)	隣接する創業支援施設開館に向けて、支援施設との連携、企業活動や創業に役立つ資料収集の提案が、各館の特性と今後考えられる方向性を理解した内容であった。
12	下丸子図書館 (株式会社ヴィアックス)	子育て個別相談会を専任スタッフにて行うファミリー同士の交流の場の提供など、子ども・子育てを重視した提案があり、特設コーナーの充実が期待できる。
13	多摩川図書館 (株式会社図書館流通センター)	多くの指定管理実績を持つ事業者であり、運営のノウハウが豊富で研修体制も充実している。また、子育て世帯の多い地域特性に合わせ児童対象の自主事業実績が評価された。
14	蒲田図書館 (共同事業体 JCS/NPTグループ)	「映画のまち蒲田」にちなんだ取り組み実績等が評価され、図書館資料の活用と区民への提供という視点に立った提案から、利用者拡大につながる事が期待できる。
15	蒲田駅前図書館 (株式会社図書館流通センター)	多くの指定管理実績を持つ事業者であり、運営のノウハウが豊富であり研修体制も充実している。また特設コーナーである医療・介護情報資料の充実、専門司書を配したレファレンスルームの運営実績が評価された。

・ これらを総合的に評価した結果、指定管理者になることへの強い意欲、適格性が認められ、選定委員の合議により指定管理候補者として選定した。